



地域と共に、地域と繋がる

校長 檀原 延和

夏休みが終わり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。個人面談では、酷暑の中、ご協力いただきありがとうございました。面談の内容を2学期の指導や支援に生かしてまいります。

**【清里林間学校】** 6年生は、7月24日～26日、清里林間学校へ行ってきました。間伐体験や溪流



釣りなど、様々な体験活動や探究活動に取り組んできました。そして何より、友達と寝食を共にしながら2泊3日の共同生活を満喫してきました。

**【地域と繋がる「まなぼうさい、あそぼうさい」】**

夏休み中の8月2日、3日に、「南小に泊まろう! 2025 まなぼうさい、あそぼうさい」が行われました。「南小に泊まろう」は、みなみの会を中心に令和4年度から実施しています。

一方、前原町一丁目、二丁目町会の防災会が中心となって毎年避難所訓練を行い、隔年で宿泊訓練も実施しています。

令和5年度に、みなみの会と地域防災会の宿泊訓練が、別々に実施されていたのを見て、一緒に開催できたらいいなと思っていたところ、防災会の武田様と鈴木様が、中心となって共同開催する方向で準備を進めてくださいました。

その後、「みなみの会」の池野会長をはじめ役員の保護者が、町会の防災会議に参加し内容を詰めていきました。実際の避難所を想定した全員参加型の運営や小さい子供たちへの配慮など、アイデアを出し合い計画を練っていったそうです。

当日の訓練内容は、初期消火訓練、放水訓練、AED救命救護訓練、起震車体験など、グループに分かれて行いました。起震車は、東京消防庁に1台しかない、震度7の揺れを再現できる起震車



をお借りできました。私も体験させていただきましたが、体が浮き上がるほどの揺れに大地震の恐ろしさを実感することができました。

防災講習会では、小金井市地域安全課の小林様と旦那様の和やかな“かけあい”やクイズを通して、防災について楽しく分かりやすく学ぶことができました。

その後、町会や南小サポーターの協力の下、大きな鍋を使った炊き出し訓練を行いました。すいとんや南小の畑で獲れたミニトマトやシソも使ったオリジナルちらし寿司を作りました。それぞれ150人分もの量を作るという大変な作業でしたが、子供たちも参加させていただき、地域の方々との貴重な交流の機会となりました。

美味しく夕食をいただいた後は、みなみ学童保護者有志「坂下バンド」の演奏で、開校50周年記念歌「みどりのくじら」や「みんなちがってみんないい」などを歌いました。世代を越えて一体感を感じることでできた素敵な時間となりました。

その後、参加者全員で車座になり、池野会長の司会で一日の活動を丁寧に振り返りました。子供たちの素直な感想が、とても印象的でした。



翌朝6時20分からは、武蔵野公園のラジオ体操に参加しました。主催している中野さんから「今年は、参加する児童がとても増えたんです。」と、報告がありました。ラジオ体操への参加を通して、子供たちが地域に溶け込んでいる様子を見ることができ、とても嬉しくなりました。

今年度の「まなぼうさい、あそぼうさい」は、地域と保護者と学校が連携し、正に地域と共に、地域と繋がる防災訓練であったなと思いました。

最後になりましたが、ご尽力、ご協力いただきました、前原一丁目、二丁目防災会の皆様、地域安全課、消防庁警防課、消防第四分団の皆様、南小サポーター、おやじの会、みなみ学童「坂下バンド」の皆様、みなみの会役員及び保護者様と子供たち、南小教職員、ご協力いただきました全ての方たちに感謝いたします。